

取得単位一覧

4月9日(木)

3月5日時点(予定) 変更の可能性がります。

時間	セッション名	会場	演題名	講師	日手会	日整会	日形会	オンデマンド
8:40~9:40	海外招待講演1	第2会場	Management of Thumb CMC Arthritis: State of the Art for 2026	Jeffrey Yao	1	[10,13]	-	○
	教育研修講演3	第5会場	手外科に役立つ電気生理の基礎知識～神経筋電気診断学(electrodiagnosis: EDX)のすすめ～	長谷川和重	1	[1,8]	-	○
9:45~10:45	教育研修講演4	第5会場	絞扼性神経障害のポイント	池口 良輔	1	[8,10]	-	○
	教育研修講演8	第9会場	内視鏡補助下第一肋骨切除術(EA-FRR) 1,000例からみるTOS病態の再定義	古島 弘三	1	[8,9]	-	○
10:20~11:20	理事長講演	第1会場	手外科における最近の動向	酒井 昭典	1	[1,10]	領域	○
10:50~11:50	教育研修講演5	第5会場	臨床例より考える手外科感染症の基本事項から治療の最前線まで	善家 雄吉	1	[6,10]	-	○
12:00~13:00	ランチョンセミナー1	第1会場	本邦での生き残りをかけたフランス発 橈骨遠位端骨折インプラントの戦い方	市原 理司	1	[2,10]	-	-
	ランチョンセミナー2	第2会場	Thumb Thing New, Thumb Thing Old -進化する母指CM関節症治療の最前線-	松田 匡弘	1	[10,13]	-	-
	ランチョンセミナー3	第3会場	橈骨遠位端骨折に関する personal perspective	岡崎 真人	1	[2,10]	-	-
	ランチョンセミナー4	第4会場	橈骨遠位端骨折治療	太田 英之 鍛治 大祐	1	[2,10]	-	-
	ランチョンセミナー5	第5会場	表面型人工指関節の臨床使用から四半世紀を経て	南川 義隆	1	[6,10]R	-	-
	ランチョンセミナー6	第7会場	整形外科医が知っておきたい自己免疫性末梢神経障害;しびれの裏に潜む慢性炎症性脱髄性多発根ニューロパチー(CIDP)	海田 賢一	1	[1,8]	-	-
	ランチョンセミナー7	第8会場	手根管症候群とトランスサイレチン型心アミロイドーシス	大久保ありさ 鶴田 敏博	1	[8,10]	-	-
	ランチョンセミナー8	第9会場	Internal Brace	吉田 史郎 河原三四郎	1	[2,10]S	-	-
13:10~14:10	特別講演1	第1会場	持続可能な手外科に向けての提言	三浪 明男	1	[1,10]	領域	○
	海外招待講演2	第3会場	What I have learned from my patients with congenital hand differences	Goo Hyun Baek	1	[3,10]	領域	○
	教育研修講演6	第5会場	ブシュアル結節に対する人工関節破損をどうとらえるか	平瀬 雄一	1	[10]	-	○
	第12回手の造形手術研究会-第1回日タイ手外科マイクロサージャリー研究会-	第10会場	Soft tissue reconstruction in the late presentation of hand and Extremity injuries	Thepparat Kanchanathepsak	1	[2,10]	-	○
14:10~15:10	第12回手の造形手術研究会-第1回日タイ手外科マイクロサージャリー研究会-	第10会場	マイクロサージャリーを用いた手の外傷治療	河村 健二	1	[2,10]	-	○
14:15~15:25	シンポジウム3	第3会場	やさしい先天異常 - 持続可能なスタンダードを目指して -		-	-	領域	○
14:30~15:30	教育研修講演7	第6会場	“ゼロ”から学ぶ手・肘関節鏡	吉田 史郎	1	[9,10]	-	○
15:10~16:10	第9回手の造形手術ワークショップ	第10会場	手外科領域における創外固定を用いた関節拘縮解離手術	中井 生男 五谷 寛之	1	[2,10]	-	○



お知らせとお願い

時間	セッション名	会場	演題名	講師	日手会	日整会	日形会	オンデマンド
15:20～ 16:20	教育研修講演 9	第 9 会場	リウマチ上肢の外科的再建術	西田圭一郎	1	[6,9]R	-	○
15:30～ 16:30	教育研修講演 1	第 3 会場	手外科診療に役立つ創傷管理	黒川 正人 高木 誠司	1	[2,10]	領域	○
16:35～ 17:35	教育研修講演 2	第 3 会場	手外科領域の保険診療（社会保険等委員会企画）	池上 博泰 服部 泰典	1	[14-5]	-	-
9:00～ 10:30	ハンズオン セミナー 1	ハンズオン 会場	手外科治療の未来：靭帯補強と骨折治療の最新トレンド	坂野 裕昭 藤澤 幸隆	1 1	-	-	-
14:00～ 16:00	ハンズオン セミナー 2	ハンズオン 会場	尺骨短縮術を確実に～イロハから授けます～	西脇 正夫	1	-	-	-

4月10日（金）

時間	セッション名	会場	演題名	講師	日手会	日整会	日形会	オンデマンド
8:30～ 9:30	教育研修講演 10	第 1 会場	手外科慢性疼痛に対するアプローチ—新しい痛みの分類・痛覚変調性疼痛—	三木 健司	1	[8,13]	-	○
	海外招待講演 3	第 2 会場	A Journey of Friendship and Collaboration: Reflections from KSSH and ASSH on the JSSH	Poong-Taek Kim Edward Diao	1	[14-5]	-	○
	海外招待講演 4	第 3 会場	Refining Tennis Elbow Treatment: Arthroscopic Insight from Tendinopathy to Instability	In-Ho Jeon	1	[2,9]	-	○
10:50～ 11:50	特別講演 2	第 1 会場	やさしい日本語：やさしい医療の一つの鍵	クレシーニアン	1	[14-5]	-	○
12:00～ 13:00	ランチオン セミナー 9	第 1 会場	女性ホルモンと手指症状	多田 薫 阪口 晃一	1	[10]	-	-
	ランチオン セミナー 10	第 2 会場	ロジックの効いた橈骨遠位端骨折治療～的確なプレート選択と小骨片を固定するパワフルツール Hung Up System～	坂野 裕昭	1	[2,10]	-	-
	ランチオン セミナー 11	第 3 会場	会場と共に考える女性に多い手外科疾患の診断と治療—メノポハンドから関節リウマチまで—	岩本 卓士	1	[10,13]	-	-
	ランチオン セミナー 12	第 4 会場	その選択で大丈夫？—橈骨遠位端骨折における保存と手術の合併症回避を重視した治療戦略—	川崎 恵吉	1	[2,10]	-	-
	ランチオン セミナー 13	第 5 会場	上肢の疼痛に対する薬物治療と下行性疼痛抑制系への理解	園畑 素樹	1	[1,8]	-	-
	ランチオン セミナー 14	第 6 会場	脆弱性骨折後の骨粗鬆症治療戦略—ガイドラインに基づいた骨形成促進薬の選択—	佐竹 寛史	1	[2,4] Re	-	-
	ランチオン セミナー 15	第 7 会場	それでもプレートを遠位に設置すると獲得掌側傾斜は減少する	森谷 浩治	1	[2,10]	-	-
	ランチオン セミナー 16	第 8 会場	手根管症候群から始まる全身疾患：ATTR-CM を見落とさないために	吉江 幸司 中土 幸男	1	[8,10]	-	-
	ランチオン セミナー 17	第 9 会場	進化する橈骨遠位端骨折のスタンダード	坂 なつみ 筒井 完明	1	[2,10]	-	-
	ランチオン セミナー 18	第 10 会場	第 23 回神経因性疼痛研究会	蟹江 祐哉 岩下 成人	1	[1,8]	-	-

第69回 日本手外科学会学術集会

The 69th Annual Meeting of the Japanese Society for Surgery of the Hand

時間	セッション名	会場	演題名	講師	日手会	日整会	日形会	オンデマンド
13:10～ 14:10	特別講演 3	第1会場	持続可能な CST に向けた形成外科領域での課題と取り組み	今井 啓道	1	[14.5]	領域	—
	教育研修講演 11	第2会場	Orthoplastic Surgery の基礎と応用 「Orthoplastic Hand Surgery のベストプラクティス」	田中 克己	1	[3.10]	領域	○
14:00～ 15:00	教育研修講演 14	第6会場	手指屈筋腱損傷治療のアップデート	坪川 直人	1	[10.13]	—	○
15:30～ 16:30	教育研修講演 12	第3会場	橈骨遠位端骨折治療の“最先端”	長尾 聡哉	1	[2.10]	—	○
16:00～ 17:00	教育研修講演 13	第4会場	手・上肢に発生する骨軟部腫瘍の診断アプローチ — 頻度・発生部位・画像パターンから考える —	佐々木裕美	1	[5.10]	—	○
14:30～ 16:30	ハンズオン セミナー 4	ハンズオン 会場	Accurio 変形矯正システムを用いた橈骨遠位端矯正骨切りの実際	岡 久仁洋	1	—	—	—
				宮村 聡				